

ヒト唾液ORP測定における測定・参加者の方へ ルール[2]

- ① 飲食をしてきた方は、飲食後40分経過後に綿棒を舐めて唾液測定を受けてください。
 - ・直前に飲食した場合は、唾液と混合された飲食物そのものの測定結果が出ます。
 - ・唾液測定だからと考え、測定直前に水でうがいやガム、その他、口腔内への飲食は絶対にしないでください。
- ② 飲食して腸に吸収され血液を通して唾液に反映には最低30～40分かかります。
 - ・飲食直後の測定は、飲食そのものが酸化と還元作用どちらに傾くかの判断になります。
 - ・飲食後の真実値は、あくまで生体内の酵素等の働きで最低30～40分かかります。
- ③ 携帯電話の電源は、唾液測定の60分前に電源は必ずOFFにしてください。
 - ・携帯電話の電源ON中は、人によって影響差はありますが、確実に電磁波で高い酸化方向を示し、被験者の正しい値になりません。
 - ・至近距離で携帯電話、電子レンジ、IH機器、テレビ、自動販売機などの電磁波を発生している環境下での唾液測定計はできません。
- ④ 測定会場へ急ぎ足で駆け込んだ直後や、室内と外気の空調温度差が激しい場合。
 - ・会場と外気の温度差に体内の新陳代謝作用が落ち着いてから(約30分経過後)唾液測定を受けてください。
 - ・環境変化での精神面や温度差で体内がストレスを受けている状態を沈静させてください。